

2018年9月17日

アクサ IM は ESG インテグレーションをさらに深め、責任投資を強力に推進

- すべての運用プラットフォームにESGクライテリアをインテグレート
- 責任投資チームと各運用プラットフォームの強化のため、専門性の高い人材を積極的に採用
- 社会へのインパクトと重大な経済的リスクが合わさったテーマにフォーカス

お客様からの ESG（環境、社会、ガバナンス）需要がますます高まる中、アクサ IM はすべての運用プラットフォームに ESG 分析をインテグレートする戦略的な判断を行い、責任投資（RI）の取り扱いキャパシティをさらに拡大させるという新しいフェーズに入りました。

「責任投資は当社の戦略的優先事項の1つです。これはお客様から責任投資を重視したいという声をいただいているからだけでなく、当社としても公平かつ平等な社会と将来に渡って持続可能な環境を守っていくために金融が果たす役割が重要であることを確信しているためです。ESG インテグレーションを深めることと、責任投資商品をさらに開発していくことは、当社が6月に発表いたしました経営に関する投資計画の一部であり、この機会に当社がお客様にとってより良い運用会社になることを目指しております」—アクサ IM チーフ・エグゼクティブ・オフィサー アンドレア・ロッシ

20年に渡る責任投資の実績を活用し、アクサ IM はこのたび ESG 分析をすべての運用プラットフォームに統合し、ファンドマネージャー達がフロントオフィスツールとして当社独自の ESG スコア評価と KPI、その他の ESG データやリサーチ結果にアクセスできるようにいたしました。また、各投資チーム内に責任投資のスペシャリストを配置することを進め、ファンドマネージャーが投資プロセスの中に ESG とインパクト分析をインテグレートすることを支援していきます。

「当社のビジネス全体に責任投資を統合するというこの新しい一歩は、ESG インテグレーションが、テーマを持ったエンゲージメントや議決権行使、ESG スコア評価、についての共通認識の必要性をまとめる一方、運用チームに詳細な ESG 要因を盛り込んだ企業分析を提供します。これによりお客様には投資内容についての ESG フットプリントを透明かつクリアに把握していただきやすくなり、当社にとってはお客様とより良いコミュニケーションをとりつつ社会にポジティブなインパクトをもたらしている企業にしっかりと資金を回すことがしやすくなるのです」—アクサ IM 責任投資統括責任者 マット・クリステンセン

マット・クリステンセンは「またアクサ IM では国連の持続可能な開発目標（UN SDGs）についてポジティブな貢献を生み出している企業を取り込むべく、ESG リスクモニタリングよりさらに進んだインパクト投資手法を開発しています。全社を通じて多くのチームが当社の責任投資関連の商品の開発に関わるようになっており、いくつかの既存の戦略を ESG 戦略としてブラッシュアップ

ップし、新しいインパクト戦略をローンチするという目標のもと、お客様のニーズにより良く応えられるようになってきています」とも付け加えています。

アクサ IM では、責任投資の担当は以下のように組織されています：

- **責任投資チーム本部**は、テーマに基づいたリサーチ、コーポレート・ガバナンス、株主としてのエンゲージメントにフォーカスしつつ、定量的ソリューションの開発も行っています。
この責任投資チーム本部では気候変動、ヒューマン・キャピタル、健康を優先テーマとし、この3テーマにそれぞれスペシャリストが任命されています。気候変動戦略の責任者にはLise Moret、ヒューマン・キャピタル&ダイバーシティ・アナリストにはアクサIMにごく最近入社したMarie Fromagetが就任いたしました。彼女たちが責任を持つグリーンボンドとソーシャルボンドに加え、Julien Follがヘルス・アナリストとして、Alice Valが気候変動アナリストとして就任。このチームが11月1日にアクサIMにESGリサーチ・アンド・エンゲージメント統括者として加わる高月 擁のもと活躍いたします。
- **各運用プラットフォーム内のESGスペシャリスト**は、各企業に対してのESG分析を担当します。一部の運用チームにはすでにESGスペシャリストが在籍しています：フラムリントン株式会社にはMelina Leprince-Ringuet、ローゼンバーグ株式会社にはShah Khan、債券部門にはRebecca GreenbergとAugustin Monnoyeurが就任しています。

アクサ IM では ESG インテグレーションは全社を挙げてのアプローチであり、テーマ別・定性的 ESG 分析、当社独自の ESG スコア評価、分析ソリューションとレポートから議決権行使とエンゲージメントまで、投資判断のためになる要素をカバーしています。さらに ESG トレーニングを全社員に対して行っています。

アクサ IM は現在 4420 億ユーロの ESG インテグレート済み¹運用資産残高（全運用資産残高のおよそ 60%）を管理しており、内 168 億ユーロは「サステイナブル投資」²資産とみなされています。アクサ IM はさまざまな ESG 商品とソリューション（ESG インテグレートッド、ベスト・イン・クラス、インパクトなど）をご提供しています。

以上

さらに詳しい情報は、責任投資セクションについて[こちらから](#)ご覧ください。
当社の最新の責任投資出版物が掲載されているインサイト・ハブは[こちらから](#)。

¹ 2018 年 6 月 30 日現在。ESG インテグレート済み資産とは、お客様のニーズに合わせて設定された ESG 目標を持つ資産です。アクサ IM が管理する資産の大半同様、これらの ESG インテグレート済み資産もアクティブ・ステュワードシップや、武器・石炭・非 RSP0 パーム油・食品デリバティブなど批判の多い投資対象の排除などのサービスが適用されます。

² 2018 年 6 月 30 日現在。「サステイナブル投資」資産には、インパクト投資資産の他、ESG クライテリアが定める投資ユニバースの資産が含まれます。インパクト投資は、社会にポジティブかつ計測できるインパクトと経済的なマーケット・リターンをもたらすことを狙う企業やプロジェクトにフォーカスして投資を行います。

メディア連絡先

ジェイン・アデア Jayne Adair
+44 20 7003 2232
Jayne.Adair@axa-im.com

ジェミー・ウィニーウィリアムズ Jamie Wynn-Williams
+44 20 7003 2680
Jamie.Wynn-Williams@axa-im.com

鎮守 聡子 Akiko Chinju
+81 3 5447 3156
Akiko.Chinju@axa-im.com

アクサ IM について

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサ IM）は長期的かつグローバルにわたる多様な資産に対してアクティブな運用を行う資産運用会社であり、投資によってお客様がより良い将来を確保するのに必要なソリューションを提供し、私たちが住む世界にプラスの変化を創造すべく、今日、お客様と共に尽力しています。2018年6月末時点で約7,590億ユーロの運用資産残高を有し、30都市21カ国において2,390名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサ IM は世界最大級のフィナンシャル・プロテクションと資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

Website: www.axa-im.com

Twitter: [@AXAIM](https://twitter.com/AXAIM)

メディアセンター: www.axa-im.com/en/media-centre

重要事項

当資料は情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券その他の金融商品の取引に関する投資調査または財務分析ではありません。また、アクサ・インベストメント・マネージャーズまたはその関連会社による投資、商品またはサービスの売上の勧誘を目的としたものでもありません。また、投資の勧誘、法的もしくは税務上のアドバイス、投資戦略の推奨または有価証券の売上の個別の推奨とみなされてはなりません。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ UK リミテッドは、英国金融行為監督機構により、認可・規制を受けています。本プレスリリースは、プレスリリース当日現在のものです。本プレスリリースは金融行為監督機構が定義するところの金融営業活動に当たるものではなく、情報提供のみを目的としています。本資料に記載された内容は個人投資家に適さない場合があります。いかなる投資判断も、本資料の情報に基づいて下すべきではありません。

本資料はアクサ・インベストメント・マネージャーズが作成した英文資料を、お客様のご参考のためにアクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が和訳したものです。当社は本資料における和訳の精度又は妥当性を表明するものではなく、和訳の際の誤脱並びに遺漏等あるいはその可能性について責任を負うものでもありません。